

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史の道ふれあい遊歩道整備事業
事業主体 (連絡先)	麻績村 (麻績村教育委員会 0263-67-4858)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,496,500 円 (うち支援金 2,058,000 円)

事業内容

- 麻績村には、国の直轄事業として内務省土木局が明治期に造成した石積堰堤がある。この石積堰堤は、県犀川砂防事務所との調査により歴史的価値が非常に高く、国の登録有形文化財への申請をおこなった。しかしながら、遊歩道整備が不十分であったため、村外者はもちろん村民であっても石積堰堤に訪れた経験がある方は少なかった。



遊歩道整備事業を行うことにより、多くの村外者に石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を発信することができ、また村民には地域への愛着や誇りが高まると考えた。今まで埋もれていた史跡を後世へ伝え残していくためにも、遊歩道整備は必要であると考え本事業を実施した。

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- 遊歩道の整備内容については、計画立案、意思決定において、地元区や地域団体と意見交換をし合意形成をしたため、地元区や地域団体の参画を得られた。遊歩道に敷く碎石を均す作業や木橋の設置等、地元区や地域団体とできるところは相互に連携し補完しながら事業推進したため、地元区や地域団体と協働して事業実施することができた。
- 次代を担う若年層へのアプローチを意識し、小学校及び中学校との連携を図り、遊歩道を活用した見学・授業を実施し地域への愛着や誇りが高まることができた。
- 遊歩道を活用した砂防遺産シンポジウムにて石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を発信することができた。地域団体との協働によりトレッキングコースとして位置付け、マップ整備に向け相互連携した。石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を知ってもらう以外にも、森林セラピーロードやエコツーリズムなど、歩いてあるがままの環境を感じる以上の付加価値の創出につながった。

【目標・ねらい】

- 地区住民や地域団体の参画と協働
- 地域への愛着や誇り高める
- 石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を発信

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

- まだ石積堰堤に訪れた経験がある方は少ない。より多くの方に石積堰堤、石積堰堤の歴史的価値、麻績村の魅力を知ってもらえるよう遊歩道を活用し周知していく。
- 自然体験型子ども教室を実施し地域への愛着や誇りが高まるよう、次代を担う若年層へのアプローチをしていく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある